



たんげん！  
じたん！  
かんたん！

このようなことで、  
困っていませんか？

活動ありきになっ  
ているなあ…  
教科の視点って？

なにかから考えれば  
いいのかが分から  
ない。  
自信がない。

単元を作成するときに  
必要な情報を一箇所  
で見られたらいいのに…

各教科等を合わせた  
指導の授業って  
どうやって作ればいいの？

教科に焦点を当てて、  
一人一人の資質・能力を  
育む授業づくりが難しい…

授業の計画が、  
授業担当者に任せっきり  
になっていない？

忙しい毎日の中、  
単元シートを作るの  
が負担だなあ…

様式はあるけど、  
どんなことを書けばい  
いのだろう？

### 各教科等を合わせた指導の単元計画シート(3たんシート)の特徴

☆児童生徒の実態を詳しく記入できる！

☆取り扱う教科等、自立活動や道徳科とのつながりを明確にして授業づくりができる！

☆各教科の資質能力(3つの柱)を一体として捉えて評価ができるようになっている！

☆みんなで考えられる！授業者の負担が減る！

☆単元を考える上で必要なことが、1つのエクセルファイルにまとまっている！

☆「各教科等を合わせた指導」を行う意図や留意点を確認できる！

☆プルダウンから選択することで作成が簡単！

☆各教科等の観点別に達成状況も確認ができる！



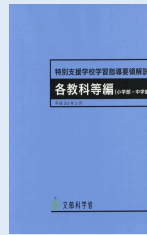
ちなみに・・・

各教科等を合わせた指導って？

(学習指導要領解説各教科等編 P26～ 参照)

【知的障害のある子どもたちの特徴】

- ・知識や技能が断片的になりやすい  
→実際の生活に応用されにくい
- ・成功経験が少ない  
→主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていない
- ・実際の生活経験が不足しがち など



【知的障害のある子どもたちに効果的な指導】

- ◇実際の生活場面に即した繰り返しの学習、継続的で段階的な指導が効果的
- ◇抽象的な内容の指導よりも、実際の・具体的な内容の指導が効果的
- ◇教材・教具や補助用具を含めた学習環境の効果的な設定
- ◇児童生徒の関わり方の一貫性や継続性の確保
- ◇周囲の理解等の環境条件の整備
- ◇学習活動への主体的な参加や経験の拡大

各教科等を合わせることで、  
学習意欲を育て、  
学習内容の定着を図ることができる！

実際の生活場面の具体的な活動を題材にし、繰り返  
し学習することで、  
学習内容の定着や生活への般化につながる！

各教科の資質・能力を合わせて学習することで、  
生活場面で必要な資質・能力を  
効率よく実際に学習できる！



『特別支援学校学  
習指導要領解説  
知的障害 各教科  
の目標・内容の一  
覧』  
国立特別支援教育  
総合研究所HP

『単元計画シート』（独立行政法人国立特別支援教育研究所作成 単元計画シート(ver.1.2α).xlsx)  
「単元作成プロセスモデルを可視化し授業の目標設定や学習評価に資するためのツール」をもとに作成

作成公開日：令和7年7月11日

作成者：

令和7年度 国立特別支援教育総合研究所 第一期特別支援教育専門研修  
知的障害教育コース 知的障害教育専修プログラム  
研究協議班 第3班

|                |      |
|----------------|------|
| 静岡県立沼津特別支援学校   | 佐野文美 |
| 静岡県立藤枝特別支援学校   | 堀田綾子 |
| 京都府立丹波支援学校     | 山崎萌子 |
| 広島県立広島特別支援学校   | 改崎智紀 |
| 鹿児島県立牧之原特別支援学校 | 小野竜也 |

作成支援：

知的障害教育コース 知的障害教育プログラム実施代表 横尾 俊（総括研究員）  
同 3班研究支援担当 丹野哲也（上席総括研究員）